



# 北海道ゾーンからこんにちは



木道の花々が次々と咲き始めました。花粉を遠くに運んでもらえるように目立つ花を咲かせるものもあれば、人間には気づかないような地味な花をつけるものもあります。どんな花が咲いているのか探しに出かけてみませんか？

## コウライテンナンショウ(高麗天南星)

サトイモ科 アイヌ語名:ラウラウ

別名「マムシグサ」とも呼ばれるこの植物は、葉の鞘(さや)の模様がマムシの模様に似ているという説や花の様子が見え方がマムシの鎌首をもたげている様子に似ていることからつけられたという説があります。



6月頃にミズバショウのような形の「仏炎苞(ぶつえんほう)」と呼ばれる花をつけますが、葉と同じような色なので、つい見過ごしてしまいます。

雄株と雌株は異なり、栄養状態がよいと雌株に性転換するという変わった性質を持っています。イモ状の地下茎は特に有毒ですが、植物全体が有毒です。秋にはトウモロコシのような形の真っ赤な実がなり、目を引きまします。

## イヌエンジュ(犬槐)

マメ科 アイヌ語名:チクペニ

エゾリスから入る北海道ゾーンの入口のすぐ左手にあります。春先に芽吹く木々の中では一番遅く葉を広げます。くるくるとした葉が目印なので、すぐにわかります。



8月にクリーム色の小さな花が咲き、秋にはエンドウマメのような種がつきますので観察してみてください。樹皮は染料、胃薬、いやなにおいが強いのでアイヌの人たちは魔除けにも使ったといわれています。

植物の名前に「イヌ」がつくものがいくつかありますが、「使えない」という意味で使われているそうです。他にはどんな植物についているのか観察してみるのが面白いですよ。

## 編集後記

あめ、アメ、雨・・・6月の釧路はどれだけ降るんだってくらいほんとに雨ばかりでした。まさに梅雨っていうのを体感しました。動物たちにとってはどうだったのかな？よかったのかな？

お知らせでもありましたが7月19日、8月9・10日はみなさんお待ちかねの夜の動物園まつりです。普段みられない夜の動物たちを見ることができます。私のおすすめはビーバーです。

スイスイと気持ちよさそうに活発に泳ぐビーバーかわいいですよ～!サル山前のステージ横ではテントで100円くじやスーパーボールすくいなども行いますのでぜひお越しください。

これから夏本番、すごしやすい恰好で釧路市動物園へレッツゴー!!

A.N記

発行日 2014年7月1日  
発行・編集 NPO法人 釧路市動物園協会  
TEL 0154-56-2124 FAX 0154-56-2828  
住所 〒085-0201 釧路市阿寒町下仁々志別11番地  
ホームページ <http://np0946zookyokai.web.fc2.com/>

協力 釧路市動物園  
TEL 0154-56-2121 FAX 0154-56-2140  
ホームページ <http://www.city.kushiro.lg.jp/zoo/>  
印刷 藤田印刷株式会社